

第82回日本医学放射線学会総会  
特別企画 (ダイバーシティ委員会)  
「若手/中堅応援：キャリア形成とワークライフバランスを考える」

## 日本女性放射線腫瘍医の会の取り組み

東京都済生会中央病院 放射線治療科  
内田伸恵

## キャリア形成とワークライフバランスを考える 日本女性放射線腫瘍医の会の取り組み

- 日本女性放射線腫瘍医の会  
Japanese Association for Women Radiation Oncologist (JAWRO)  
設立経緯、JASTRO/JRSとの関係
- JAWROの活動内容
- キャリア形成とワークライフバランス
- JAWROの今後

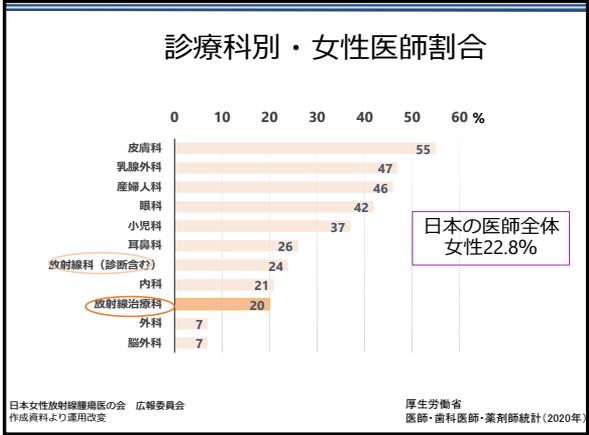
## 日本放射線腫瘍学会(JASTRO)

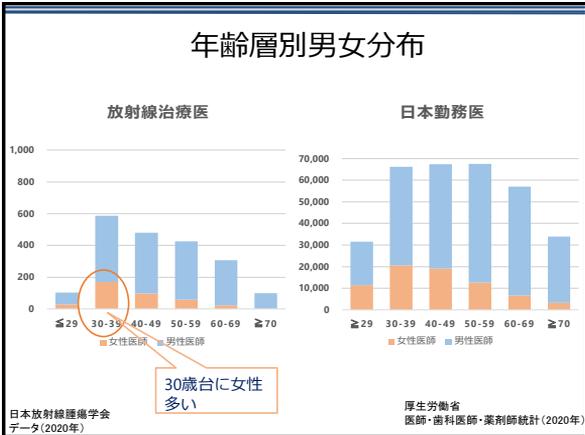
- 1983年 放射線治療システム研究会
- 1988年 日本放射線腫瘍学会設立 正会員640
- 2008年 一般社団法人化
- 2012年 公益社団法人化
- 2013年 日本医学会 加盟
- 2022年8月 総会員4,219名 正会員2,237名  
4部会、23委員会

## 日本放射線腫瘍学会の構成 役員・男女共同参画/ダイバーシティ担当部署

	総数	男	女	(%)
医師	2,055	1,648	407	19.8
放射線治療専門医	1,406	1,142	264	18.8
代議員	186	168	18	9.7
役員 (理事・監事)	20	18	2	10

・男女共同参画ダイバーシティ小委員会 (2017年4月設立)  
5名中 男2、女3  
(2022年8月時点)





### 日本女性放射線腫瘍医の会(JAWRO)

- 設立宣言(2009年4月)共同発起人12名
- 目的
  - 女性放射線腫瘍医の親睦と情報交換の場を提供
  - 次世代の女性放射線腫瘍医の活躍の場を増やす

<https://www.jawro.jp/>  
<https://www.facebook.com/>

### 設立趣意

**設立背景**  
 . . . . . より多くの患者に良質な放射線治療を提供するためには、男女を問わず放射線腫瘍医がさらに増え、生涯モチベーションを維持して活躍することにより、各個人のワークライフバランスが適切な水準に保たれるようなゆとりある医療の場を作ることが必要である。

**到達目標と方策**

- 女性放射線腫瘍医がキャリアを中断させないためのモチベーション維持の一助とする。情報交換や親睦、メンタリング(経験者の助言により自発的発達を促す)の場として、放射線腫瘍学会時に日本女性放射線腫瘍医の会を開催する。
- 放射線腫瘍医を目指す女性の増加を促すことにより、放射線治療の現場のマンパワーを増やす一助とする。放射線腫瘍学は女性医師が十分にその能力を発揮できる診療・学問であることを女子医学生や女性研修医に広くアピールする。

2009年4月18日  
<https://www.jawro.jp/>

- ### JAWROの活動
- ウェブサイト、Facebookで情報発信
    - 社会にアピール・活躍の場を広げる
    - 女性放射線腫瘍医の働く病院一覧
  - キャリアアップ支援
    - 研究/学会参加助成
  - 企画講演(日本医師会・JASTROと共催)
  - 情報交換・メンターリング
    - 懇親会(学会時・JAWRO Night)、ZOOM企画(月1回)
  - 正会員88名

### 研究・研修助成

年度	受賞者(敬称略)	学会名
2011	関西医科大学 角田貴代美	第49回日本癌治療学会・発表
2012	福井県立病院陽子線がん治療センター 川村麻里子	1 <sup>st</sup> Annual MD Anderson Proton Therapy Center Workshop (USA)
2012	順天堂大学 齋藤アンネ優子	女性放射線腫瘍医の就労調査
2014	順天堂大学医学部 黒河千恵	欧州放射線腫瘍学会「ESTRO 33」
2014	済生会松坂総合病院 後期研修医 渡邊裕衣	JASTRO参加
2016	がん研有明病院 レジデント 熊井康子	欧州放射線腫瘍学会「ESTRO 35」
2016	市立宇和島病院 中島直美	欧州放射線腫瘍学会「ESTRO 35」
2016	京都大学 宇藤 恵	癌治療学会発表
2017	東京女子医科大学 泉 佐知子	炭素線による新しい乳癌治療法開発のための基礎研究
2018	都立駒込病院 早川沙羅	日本腫瘍学会参加・発表
2018	栃木医療センター 放射線科 村上恵理	FARO 参加・発表
2019	京都市立病院 平田田希美子	日本乳癌学会学術総会 参加・発表
	がん研有明病院 中島直美	海外学会
2020	岐阜大学 牧田智蒼子	研究助成

国内学会助成 5, 海外学会 7, 研究助成 3

### JAWROの助成事業を利用された齋藤アンネ優子先生の研究成果が Advances in Radiation Oncologyに掲載(2021)

Advances in Radiation Oncology (2021) 7, 1869-79

Scientific Article

#### Workplace Gender Inequity Is Driven by Broader Societal Inequity: A Qualitative Study of Senior Japanese and American Radiation Oncologists

Christina Hunter Chapman, MD, MS,<sup>1,2</sup> Kyoko Nomura, MD, MPH, PhD,<sup>3</sup> Ayesha Kothari,<sup>4</sup> Namrata Atturi,<sup>5</sup> and Anneuko I. Saito, MD, PhD<sup>6\*</sup>

<sup>1</sup>Department of Radiation Oncology, University of Michigan, Ann Arbor, Michigan; <sup>2</sup>Center for Clinical Management Research, Veterans Affairs Ann Arbor Health Care System, Ann Arbor, Michigan; <sup>3</sup>Department of Public Health, Alameda University Graduate School of Medicine, Alameda City, Japan; <sup>4</sup>University of Michigan, Ann Arbor, Michigan; <sup>5</sup>Department of Radiation Oncology, Aichi Graduate University of Medicine, Bologna, Japan; <sup>6</sup>Department of Radiation Oncology, University of Michigan, Ann Arbor, Michigan

Received April 16, 2021; accepted December 1, 2021

**Abstract**  
 Purpose: Gender inequity in medicine harms society, and often originates in the context of broader societal discrimination. This study explores the experiences of older women in the radiation oncology specialty in Japan and the United States, with an emphasis on understanding how broader gender inequity affects career trajectory. Radiation oncology is an ideal setting to investigate cross-cultural physician gender equity issues, because few women enter the field despite fewer barriers (eg, language, immigration, training/workload hours, long procedures) that are commonly cited by women as deterrents to specialty selection.  
 Methods and Materials: Between 2012 and 2016, the authors interviewed 14 older women in radiation oncology (department chair or full professor), with 6 from Japan and 8 from the United States. Multiple analysis identified themes to explore the impact of societal gender inequity on female radiation oncologist careers.  
 Results: Our findings were identified in 11 cross-cultural similarities, affect career trajectories (7), retirement decisions and senior-level

**Workplace Gender Inequity Is Driven by Broader Societal Inequity: A Qualitative Study of Senior Japanese and American Radiation Oncologists**  
 Christina Hunter Chapman, MD, MS<sup>1,2</sup>, Kyoko Nomura, MD, MPH, PhD<sup>1</sup>, Aysha Kotiah<sup>3</sup>, Ramona Altieri<sup>4</sup>, and Katsuyuki S. Sakita, MD, PhD<sup>1</sup>

<sup>1</sup>Department of Radiation Oncology, University of Michigan, Ann Arbor, Michigan; <sup>2</sup>Center for Clinical Management Research, Veterans Affairs Ann Arbor Health Care System, Ann Arbor, Michigan; <sup>3</sup>Department of Public Health, Michigan State University, East Lansing, Michigan; <sup>4</sup>Department of Radiation Oncology, University of Michigan, Ann Arbor, Michigan

Received April 10, 2023; accepted December 1, 2023

**方法:**

- 2012年-2016年
- 放射線腫瘍学を専門とする女性教授・上級医14人（日本6,米国8）にインタビュー
- 女性の放射線腫瘍医のキャリア形成に、ジェンダー不平等が与える影響を調査するためのテーマを特定し、テーマごとに分析

**結果:** 5つのテーマが特定

- 小児期のジェンダーに対する概念が将来のキャリア志向に影響
- 根強い性差別意識と性差により職場が被るデメリットがキャリアに影響
- 家庭におけるジェンダー不平等がキャリアに影響
- ジェンダーと無関連な要因がキャリア満足度に影響
- ジェンダーの平等を達成することは、米国よりも日本で困難

(斎藤アンネ優子, JASTRO Newsletter 2022, No.145, 13-15より抜粋)

セミナー・講演会			
年月日	タイトル	演題名	演者 (敬称略)
2010/11/20	女性放射線腫瘍医の今と未来を考えるセミナー	日米両国の医療現場に身をおいて感じたこと 女性放射線腫瘍医の満足度を高めるために 日本女性放射線腫瘍医の会について 女性放射線腫瘍医に期待すること	斎藤アンネ優子 内田伸恵 播磨洋子 澤孝文
2011/11/29	ティータイムセミナー	女性放射線腫瘍医としての経験から後輩へ伝えたいこと 女性放射線腫瘍医として歩み始めて JASTROから女性放射線腫瘍医に期待すること 女性医師のキャリアパス	野崎美和子 西園いくの 平岡真寛 (JASTRO理事長) 瀧野敏子 (イージェイネット)
2012/4/14	講演会	ある視点から女性治療の将来を占う	永倉久泰
2013/10/19	ティータイムセミナー	研究助成報告 研修助成報告 講演1「Women's gateway- 世界で活躍する女性・ママを目指して」 講演2「日本の放射線腫瘍学の展望」	斎藤アンネ優子 川村麻里子 ノルシャアリナ スライマン 西村崇昌 (JASTRO理事長)
2014/4/13	セミナー	指宿の陽子線治療と女性医療者への期待	斐川良夫
2014/12/12	講演会	遺伝性乳がん・卵巣がん症候群と遺伝カウンセリング	青木美紀子 (聖路加国際病院 遺伝診療部 看護師・認定遺伝 カウンセラー)
	助成報告	ESTRO 33 に参加して—医学物理士の立場から	黒河千恵
2015/5/12	ティータイムセミナー	研究助成報告「医師の多様性を受け入れるために」 ケルスベーターの研究と臨床応用、それまでに支えてくれた素晴らしい人達	伊井嘉子 岸和史
2015/11/21	特別講演 温泉Night	Regional Nodal Radiotherapy for Breast Cancer	Reshma Jaggi (ミシガン大) 伊香保温泉

**リーダーシップの日米比較 (2019)**

**キュリー夫人記念シンポジウム (2016)**

**ワールドカフェ (2018)**

**医師の働き方改革の進捗 (2022)**

**JAWRO Night (2016)**

**シンポジウム (2016)**

2016/4/16	特別講演	患者の自己決定権を考える—その思想的背景から—	山田有希子(宇都宮大学教育学部 哲学・倫理学研究室准教授)
2016/11/27	キュリー夫人記念シンポジウム (日本医師会・JASTRO共催)	マリー・キュリー放射線医療のバイオニア 放射線研究から医学のパラダイムシフト	川島慶子 (名古屋工業大学) 細谷紀子(東京大学) 他
2017/4/15	特別講演	科学史から見た女性活躍の意義	小川麻里子 (三重大学名誉教授 科学史・科学論)
2017/11/19	特別講演	リン(腫瘍)の治療: 現在の到達点と今後の展望	山口素子(三重大学血液・腫瘍 内科学)
		悪性リンパ腫の FDG PET/CT - 診断と治療効果判定 -	岡村光英(大阪府済生会中津病 院PETセンター)
		悪性リンパ腫に対する放射線治療と女性放射線腫瘍医の活躍: ILROGメンバー紹介	小口正彦(がん研究会有明病 院)
2018/4/14	特別企画ワールドカフェ	「今一番がんばっていることはなんですか?」 「教えて下さい、あなたのワーク・ライフ・バランス」	司会伊井嘉子 ファンリアータ中島直美
2018/10/12	企画講演(日本医師会・JASTROと共催)	次世代へつなぐ医療のビジョン—女性のレジリエンスをいかにして—	山内英子 (聖路加国際病院ブ レストセンター)
		急性腎障害から慢性腎臓病 への移行メカニズム	柳田素子 (京都大学 腎臓内科 学)
2019/4/13	特別講演	リーダーシップの日米比較	Christina Chapman (Michigan 大学放射線腫瘍科)
2019/9/2	スライド掲載	JASTRO 会員データからみる女性放射線腫瘍医の動向	広報委員会
2020/10/1	企画講演(日本医師会・JASTROと共催) WEB	ウィズコロナ時代に求められるプロティアン・キャリアとは? —内的キャリアと真理の追求—	田中研之輔(法政大学キャリア デザイン学部)

**JAWRO Web 企画講演 女性専門職のダイバーシティ (2021)**

**プロティアン・キャリアとは? —内的キャリアと真理の追求— (2020)**

**患者の自己決定権を考える —その思想的背景から— (2016)**

**科学史から見た女性活躍の意義 (2017)**

**Jaggi先生特別講演と温泉Night (2015)**

2020/12/12	オンライン忘年会		
2021/2/19	Zoom 企画	The 英語力	川村 麻里子 (名古屋大学)
2021/3/19	Zoom 企画	医学生、研修医に対する教育・勧誘の工夫について	中村和正 (浜松医科大学)
2021/5/14	Zoom 企画	病児保育室	兼安祐子(福山医療センター)
2021/7/30	Zoom 企画	アイデア脳と5択脳	斎藤アンネ優子(順天堂大学医学部 脳血管病棟)
2021/9/23	Zoom 企画	育児と仕事の両立のための工夫	村上恵理(術科医療センター) 岡野奈緒子(群馬大学 重粒子線)
2021/11/3	Zoom 企画	オンライン学会	中島直美(関西医科大学) 宇藤恵 (京都大学)
2021/11/13	企画講演(日本医師会・JASTROと共催) WEB	あなたらしく—国際弁護士を見た、女性専門職のダイバーシティ	由布 節子(源美坂井法律事務所)
2022/4/16	JAWRO後援 男女共同参画特別講演会	医療、教育現場でのダイバーシティ—日米比較国際シンポジウム—	Kenneth Olivier(米国メイヨー クリニック)
2022/7/9	Zoom 企画	就労支援	渡辺未歩 (千葉大学) 芝田紫野 (東邦大学大森病院)
2022/10/19	Zoom 企画	放射線治療における医学物理について	黒河千恵(順天堂大学保健医療学 部)
2022/11/12	企画講演(日本医師会・JASTROと共催) ハイブリッド	医師の働き方改革の進捗等について	坪井宏徳 (厚生労働省 医政局 医事課)
2023/3/27	ZOOM 企画	よりよいコミュニケーションの取り方	野崎美和子 (獨協医科大学埼玉 医療センター)

## JAWROが不要となる日？

- 放射線治療は単なる腫瘍の局所療法ではない。がん患者と真摯に向き合い、性差医療の面もあるなど、満足度高く、女性がさらに活躍できる領域。放射線治療医の道を選ぶ後輩の支援を続けたい。
- ジェンダーギャップが解消され、女性@@の肩書が不要となるとき、JAWROも新たなステージに。

## 若手・中堅の皆さんへ

- 自分の中で優先順位をつけよう
- メンターをみつけよう
- ワークライフバランスはその時の自分のベストバランスで